

Société  
Franco-Japonaise  
de Philosophie

日仏哲学会

会報 73 号 2014 年 7 月 14 日

☆ 2014 年秋季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムは HP にも掲載いたします。)

日時：2014 年 9 月 13 日 (土) 9 時 00 分 - 18 時

会場：東京大学駒場キャンパス 11 号館 (詳しくは本会報末尾のアクセスマップを参照)

- ・一般研究発表： A 会場 1101 教室  
B 会場 1102 教室  
C 会場 1105 教室  
D 会場 1108 教室
- ・特別講演 1108 教室
- ・シンポジウム 1108 教室
- ・理事会・編集委員会 1103 教室
- ・会員控え室 1109 教室

懇親会

日時：18 時 30 分 - 20 時 30 分

会場：駒場キャンパス内 18 号館 4 階のオープンスペース

会費：一般 5000 円 / 学生 3000 円

タイムスケジュール

1. 一般研究発表

A 会場 (1101 教室) 【司会：①②鈴木泉、③④佐々木能章】

① 9 時 00 分 - 9 時 40 分

林洋輔「デカルトにおける〈教育の方法〉としての〈反復〉

——〈教育者デカルト〉の成立に向けた素描 II」

② 9 時 40 分 - 10 時 20 分

竹中利彦「マルブランシュにおける最善でない世界について」

(休憩)

③ 10 時 30 分 - 11 時 10 分

秋保亘「スピノザ『エチカ』における様態の有限性の問題」

④ 11 時 10 分 - 11 時 50 分

菅原領二「中期ライブニッツにおける個体化の原理の問題」

B 会場 (1102 教室) 【司会：①②藤田尚志、③④杉山直樹】

① 9 時 00 分 - 9 時 40 分

長谷川暁人「ベルクソンにおける言語の階層について」

(次頁に続く)

② 9 時 40 分 - 10 時 20 分

原健一「『物質と記憶』における「《当事者性》の極限」

——イメージと純粹知覚の連関をめぐって」

(休憩)

③ 10時30分 - 11時10分

岡嶋隆佑「ベルクソンにおける「物質の持続」について」

④ 11時10分 - 11時50分

平賀裕貴「アンリ・ベルクソンの『道徳と宗教の二源泉』における

神秘主義と機械との関係が意味するもの」

C会場 (1105 教室) 【司会：①②澤田直、③④松葉祥一】

① 9時00分 - 9時40分

栗脇永翔「可傷性と自己欺瞞

——ジャン＝ポール・サルトルの他者論におけるサドマゾヒズムの問題」

② 9時40分 - 10時20分

中村彩「アンドロギュノスへの欲望

——シモーヌ・ド・ボーヴォワール『第二の性』をめぐる考察」

(休憩)

③ 10時30分 - 11時10分

横田仁「哲学者の両義性——メルロ＝ポンティにおけるソクラテス」

④ 11時10分 - 11時50分

伊多波宗周「系列と歴史——ブルードン『人類における秩序の創造』の論理と位置づけ」

D会場 (1108 教室) 【司会：②③④廣瀬浩司】

① —————

② 9時40分 - 10時20分

松野充貴「『臨床医学の誕生』における「批判」

——『カントの人間学』と『臨床医学の誕生』を通して」

(休憩)

③ 10時30分 - 11時10分

井上一紀「非 - 存在の一義性：前期ドゥルーズにおける」

④ 11時10分 - 11時50分

橋詰史晶「デリダのフッサール解釈の射程」

## 2. 理事会

時 間： 12時00分 - 13時00分

会 場： 1103 教室

## 3. 総会

時 間： 13時00分 - 13時45分

会 場： 1108 教室

## 4. 特別講演

時 間： 13時45分 - 14時45分

会 場： 1108 教室

Anne Sauvagnargue, « Métaphysique et devenir chez Deleuze »

アンヌ・ソヴァニャルグ。パリ第10大学教授。1961年生。1981年に高等師範学校に入学。1985年に哲学の教授資格を取得。著書に *Deleuze et l'art* (PUF, 2005) や *Deleuze. l'empirisme transcendantal* (PUF, 2008) など。

## 5. シンポジウム

時 間： 15時00分 - 18時00分

会 場： 1108 教室

テーマ：モノドロロジーの哲学（日本ライプニッツ協会との共催）

司 会： 米虫正巳

発表者： 田口茂 「フッサールのモノドロロジーと原自我の思想」（仮題）

池田真治 「「自然の真の原子」としてのモノド  
——ライプニッツの原子論との対決——」（仮題）

中倉智徳 「可能的なものの社会学  
——タルドのネオ・モノドロロジーにおける差異と個体」

## 6. 懇親会

時 間： 18時30分 - 20時30分

場 所： 駒場キャンパス内 18号館 4階のオープンスペース

会 費： 一般 5000円 / 学生 3000円

## ☆ イベントのご案内

大会の前日に、レヴィナス研究会 (<http://levinasjp.exblog.jp/>) との共同開催で、イベントを開催いたします。

日 時： 2014年9月12日（金）16時30分 - 20時30分

会 場： 東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 1

第1セッション「草稿から見える新たなレヴィナス像」（仮題）

発表者： 藤岡俊博、渡名喜 庸哲 （コメンテーター：合田正人（予定・交渉中））

第2セッション「デリダ「暴力と形而上学」再考——没後10年、刊行50年を機に」（仮題）

発表者： 小手川正二郎、荒金直人 （コメンテーター：斎藤慶典）

## ★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000円）を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は秋季大会会場で直接お支払いいただけます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。（なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。）

## ★ 「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

ご了承の下ですでに多数の方に「会報」をメール添付でお送りしていますが、まだお申し出いただいていない方で、「会報」をメール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

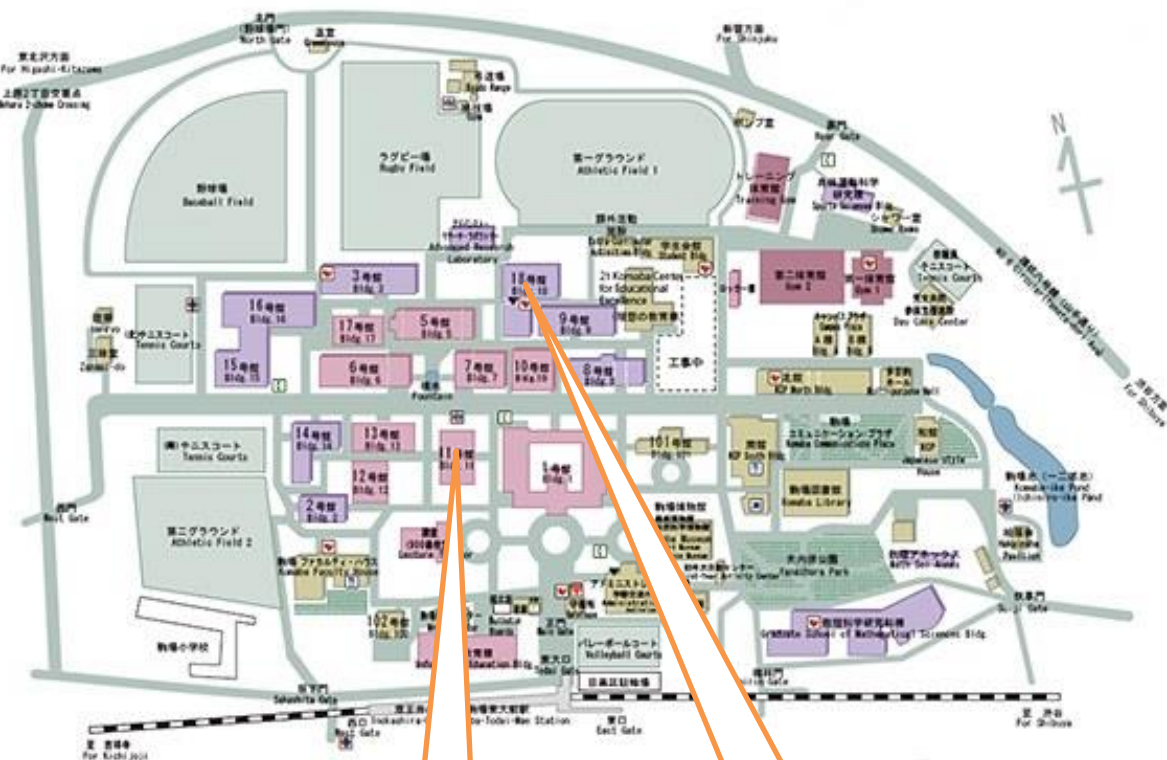
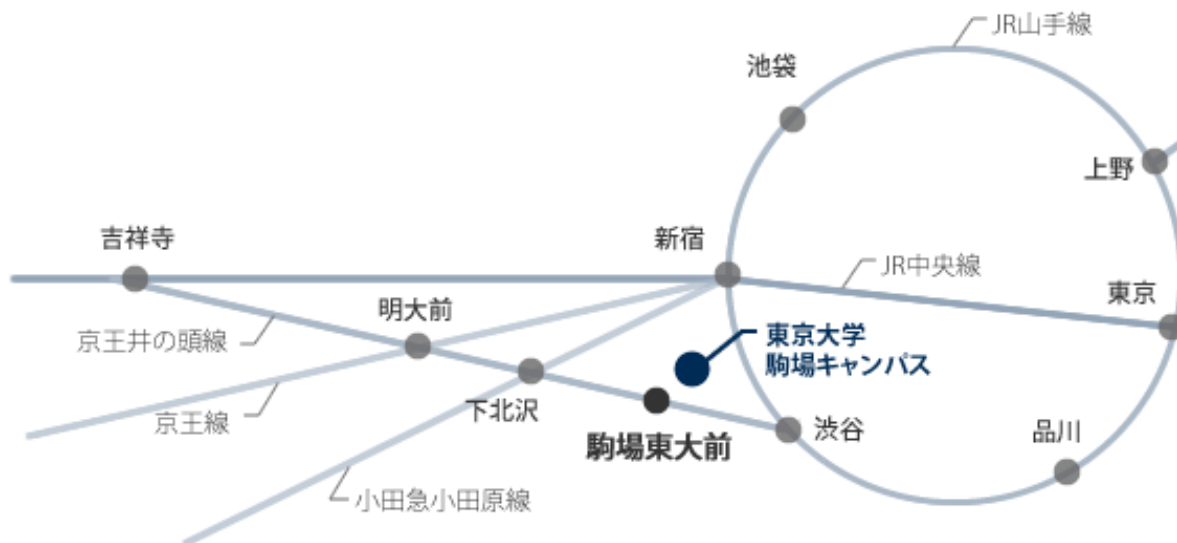
### 【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

## アクセスマップ（東京大学教養学部 HP より）



11号館  
(大会)

18号館  
(懇親会・  
前日イベント)

より解像の良いキャンパスマップは、次の URL から PDF でご覧いただけます。（現物郵送分には印刷したものを同封いたします。）

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/info/about/visitors/maps-directions/maps2013.07.pdf>